

## 菱野団地活性化・再生に関する 調査・活動報告

南山大学 石川研究室

### 菱野団地未来フォーラムの開催報告

#### ○目的

3大学5研究室でこれまで実施してきた調査研究・再生活動事業の成果を学生、住民、行政、その他団体で共有し、今後の菱野団地のあり方についての議論を深める。

※愛工大野澤研・益尾研、名城大鈴木研・谷田研、南山大石川研

○日時 2026年2月20日(金) 17時～21時30分

○場所 古民家レンタルスペース梅村商店

#### ○概要

- ① 学生によるポスター発表
- ② 5研究室の学生と参加者による座談会
- ③ 懇親会

#### ○参加者

81名

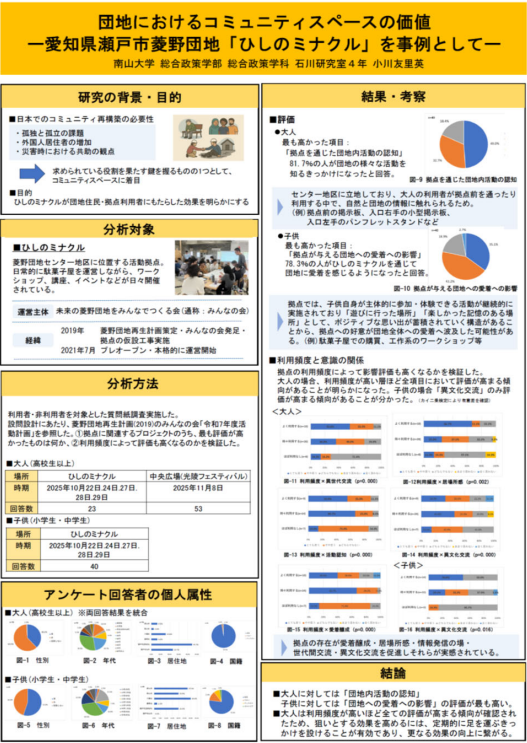
5研究室の学生52名・教員6名

自治体職員8名

民間・各種団体・住民15名

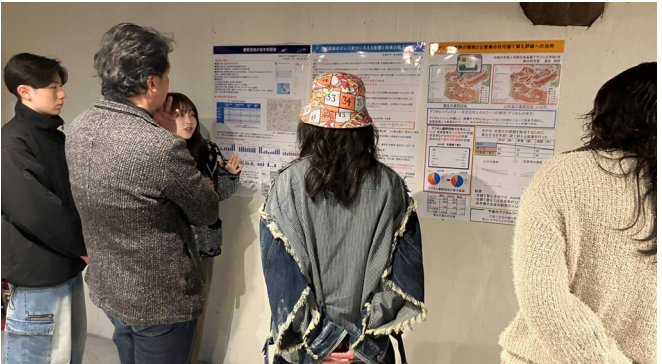


ポスターの内容	
南山大学 石川研究室	○菱野団地の概要・再生のあゆみ ○団地におけるコミュニティスペースの価値 ○広報とイベントによる街への愛着醸成 ○住民バスの利用者意識分析
名城大学 鈴木研究室	○菱野団地の空き家調査結果 ○学校統廃合が人口変化に与える影響と将来の転入予測 ○菱野団地デジタルツイン
名城大学 谷田研究室	○学生参加による「ひらかれる家」プロジェクト
愛知工業大学 野澤研究室	○菱野団地再生化活動(2025年度) ・ミナクル学生常駐      ・中央広場再整備 ・看板製作WS          ・ペンキ塗りWS ・原山SNS運用 ・多文化共生フェスタ、光陵フェスティバル
愛知工業大学 益尾研究室	○尾張瀬戸エリアイノベーションなど ○菱野団地スターハウスの活用



**結論**

■大人に対しては「団地内活動の認知」子供に対しては「団地への愛着への影響」の評価が最も高い。■大人は利用頻度が高いほど全ての評価が高まる傾向が確認されたため、団地への効果をもたらすには、定期的に足を運ぶきっかけを設けることが有効であり、更なる効果の向上に繋がる。





## 2025年プロジェクトの 背景・目的

### ▶菱野団地の現状

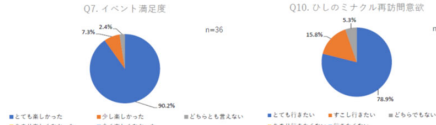
菱野団地の小中学校では外国籍の児童が多いが、日本人と外国人住民が交流する機会は限られており、地域活動の内容や意義が十分に共有されていない。その結果、地域活動への参加率が低く、菱野団地の活性化につながっていない現状がある。また、少子高齢化の進行により「みんなの会」をはじめとする住民組織では、活動を継続的に担う人材の不足が喫緊の課題となっている。

### ▶プロジェクトの目的

- ①国籍・文化を越えた交流の促進
- ②ひしのミナクルの活性化と子どもの利用促進
- ③団地再生における担い手不足の解消

イベントの企画・運営  
広報誌・SNSでの情報発信

### ▶アンケート結果



→多くの参加者が、イベントは楽しかったと回答。このようなイベントを通じた交流が、参加者のひしのミナクルへの愛着を高め、再訪意欲の向上につながると考えられる。

## 多文化共生フェスタの概要

- ・菱野団地では日本人と外国人の交流不足が課題となっている。この現状を受け、みんなの会は2025年9月20日に「多文化共生フェスタ」を開催した。
- ・本イベントにて、石川ゼミナールは自己紹介ビンゴや手形アートを用いた交流イベントの企画・運営を担当した。

### ①自己紹介ビンゴ

- ・参加者を赤・白の2グループに分け、同じ色同士で自己紹介や質問ビンゴを行いながら交流を深めるゲームを実施した。ビンゴ達成者上位5名には景品を配布した。



▶当日の様子



▶ビンゴカード

→質問内容には訪れてみたい国や海外の料理など、異文化に関するテーマを取り入れた。

### ②手形アート

- ・参加者は好きな色の絵の具を選び、布に手形を押す。完成品はひしのミナクルの看板として使用した。



▶当日の様子



▶看板完成

→子どもたちが自らひしのミナクルの看板制作に参加し、ひしのミナクルへの愛着醸成を促した。

## 広報誌の概要

### ▶背景・目的

- ①施設利用率の伸び悩み
- ②みんなの会担い手不足
- ③ひしのミナクル・活動内容の周知不足

広報誌発行による情報発信  
施設や活動内容の認知拡大  
担い手の確保の促進

### ▶広報誌「ひしののわ」作成

- 7月：広報誌作成開始
- 10月：第1号団地全戸、小・中学校配布  
第2号団地内の回覧板、小中学校配布
- 11月：光陵中フェスティバルにてアンケート実施
- 1月：第3号団地全戸、小中学校配布  
小中学校にてアンケート実施



こども用 第3号



大人用 第3号

## SNSを用いた情報発信の概要



@菱野団地盛り上げ隊  
Instagram (@hishino\_danchi\_moriagetai)

2025年8月から今年度の運用を開始。

愛・地球博20祭連携イベント  
多文化共生フェスタin 菱野団地  
菱野団地活性化を目的とした  
広報誌「ひしののわ」

菱野団地での  
活動やスポット紹介動画

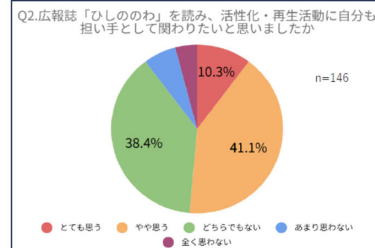
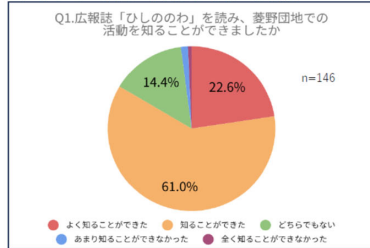
ストーリー機能やフィード投稿を活用し、約6ヶ月にわたり、菱野団地に関わる活動内容を発信。



## 情報発信による結果・成果

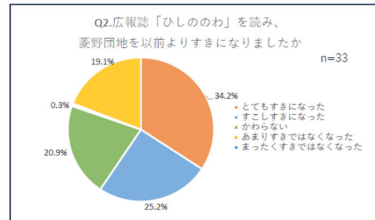
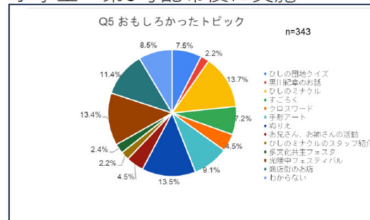
- ◆運用期間 : 2025年8月1日～2026年1月31日
- ◆フォロワー数 : 458人 (2026年1月22日時点)  
今年度の活動開始から +58人増加
- ◆総閲覧数 : 85,011

### 中学生 第3号配布後に実施



→菱野団地内での活動の認知についても比較的高い効果が見られるが、活動の具体像や実感がやや伝わりきっていない層も存在する。また、地域活動への参加意欲は一定程度高まっているものの、行動にまでは至らない層も多く存在する。

### 小学生 第3号配布後に実施



→身近な場所や活動が取り上げられることで、普段利用する場所に対して誇りや親しみを感じ、愛着が醸成される可能性があると考えられる。

## 座談会（意見交換）

### ○登壇者

南山大学	石川研究室
愛知工業大学	野澤研究室
愛知工業大学	益尾研究室
名城大学	鈴木研究室
名城大学	谷田研究室

### ○内容

- 1) 団地再生において最も重要なもの
- 2) 3大学5研究室的活動紹介
- 3) 団地の魅力
- 4) 団地の課題
- 5) 団地の未来に対する想い など

### ○主な議論

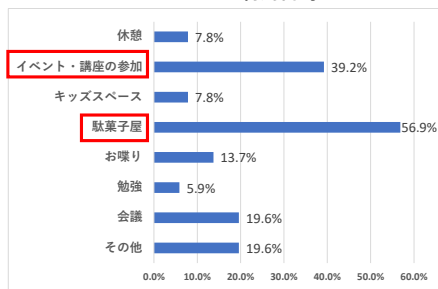
- ・コミュニティの重要性
- ・中央広場、活動拠点の魅力、整備の必要性
- ・団地全体での活動の必要性
- ・子供たちにとって住みよい街 など



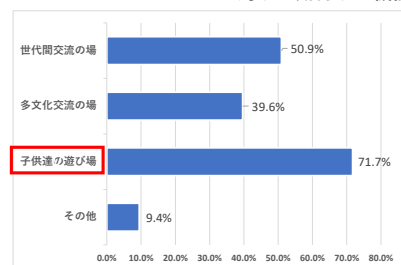


## 活動拠点「ひしのミナクル」の利用と価値に関する調査結果（抜粋）－大人－

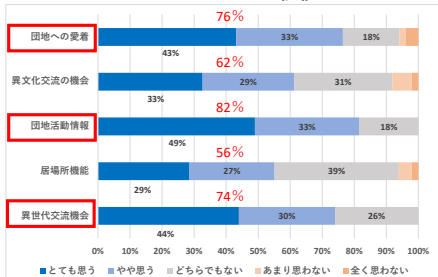
ひしのミナクルの利用目的



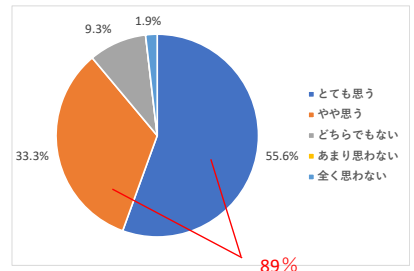
ひしのミナクルに対する期待する機能



ひしのミナクルの価値



ひしのミナクルの今後の利用意向

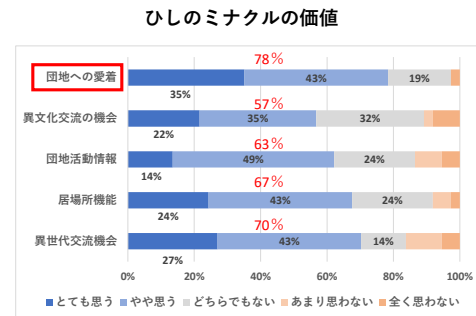
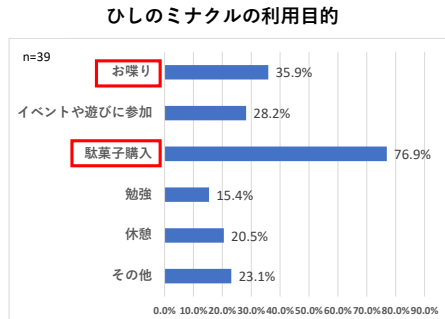
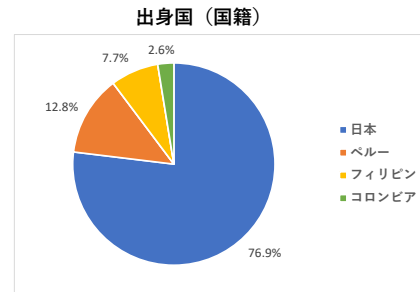
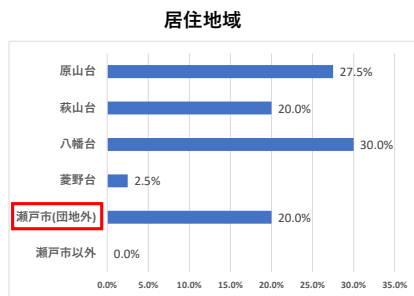


出所) 小川友里英「団地におけるコミュニティスペースの価値-愛知県瀬戸市菱野団地「ひしのミナクル」を事例として-」  
南山大学卒業論文

(注) 76 (回収数)



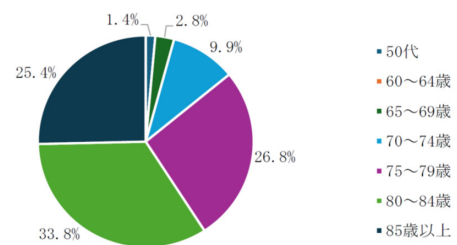
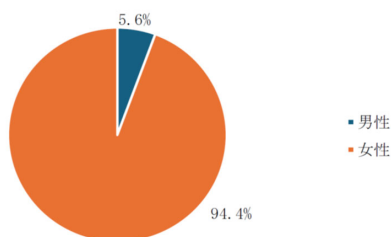
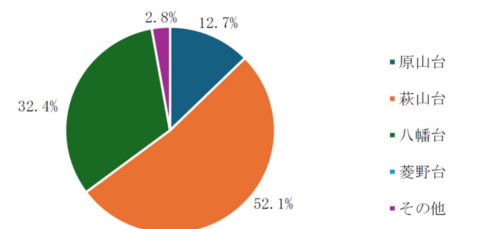
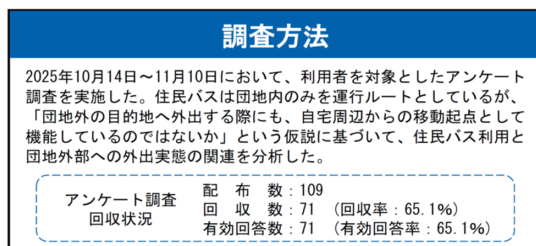
## 活動拠点「ひしのミナクル」の利用と価値に関する調査結果（抜粋）－子供－



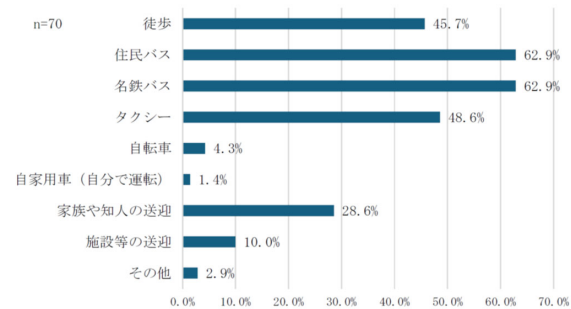
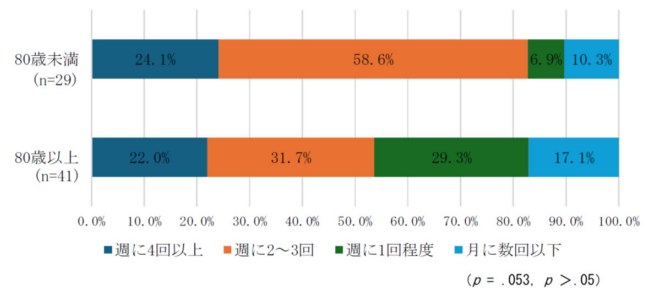
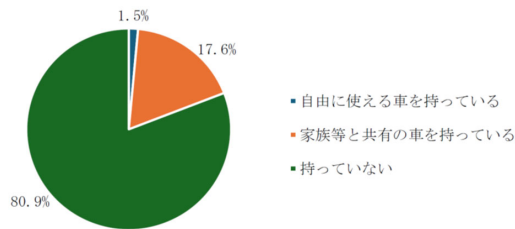
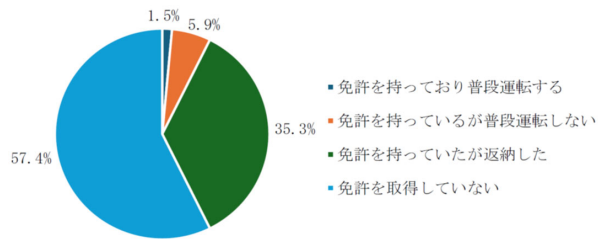
出所) 小川友里英「団地におけるコミュニティスペースの価値-愛知県瀬戸市菱野団地「ひしのミナクル」を事例として-」

(注) 小・中学生：40 (回収数)

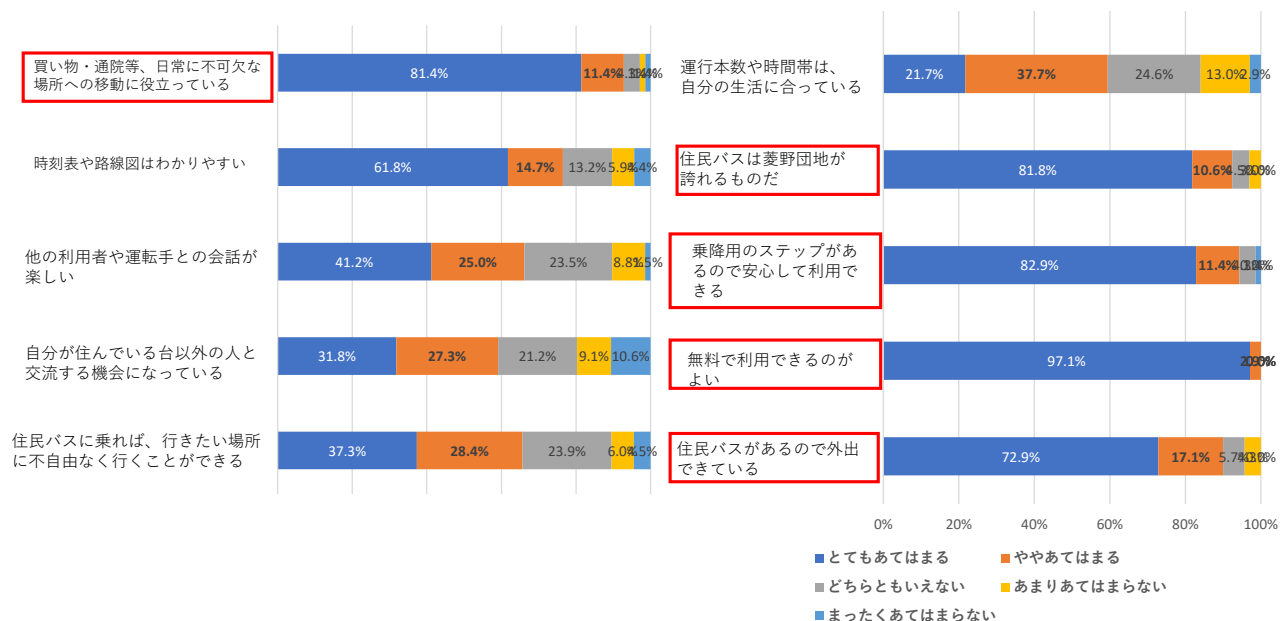
## 菱野団地住民バスの利用者意識調査結果（抜粋）



出所) 西井佑真「地域主体コミュニティバスの意義-菱野団地住民バスの利用者意識分析-」 南山大学卒業論文



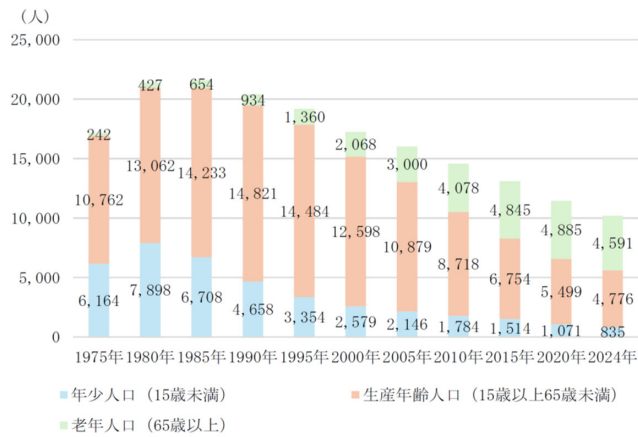
出所) 西井佑真「地域主体コミュニティバスの意義-菱野団地住民バスの利用者意識分析-」南山大学卒業論文



出所) 西井佑真「地域主体コミュニティバスの意義-菱野団地住民バスの利用者意識分析-」南山大学卒業論文

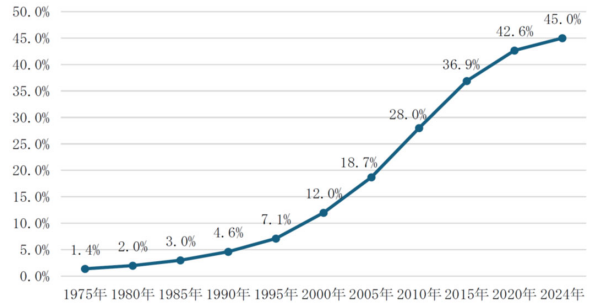
## 菱野団地の人口動態－人口減少要因－

年齢別人口の推移



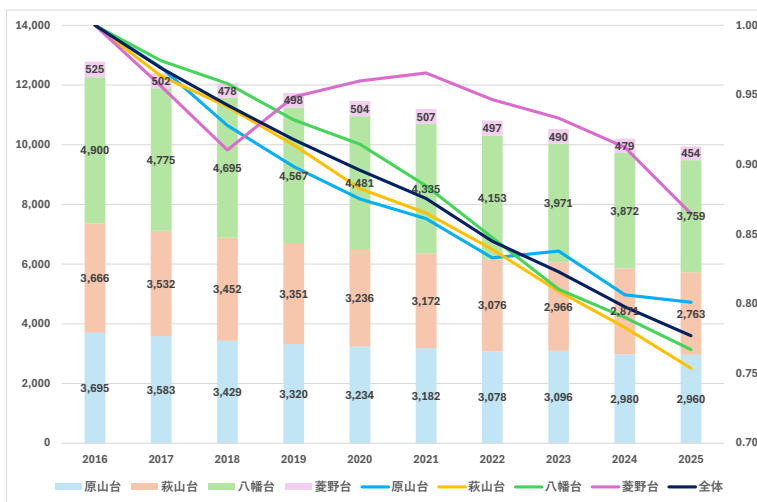
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

老年人口の推移



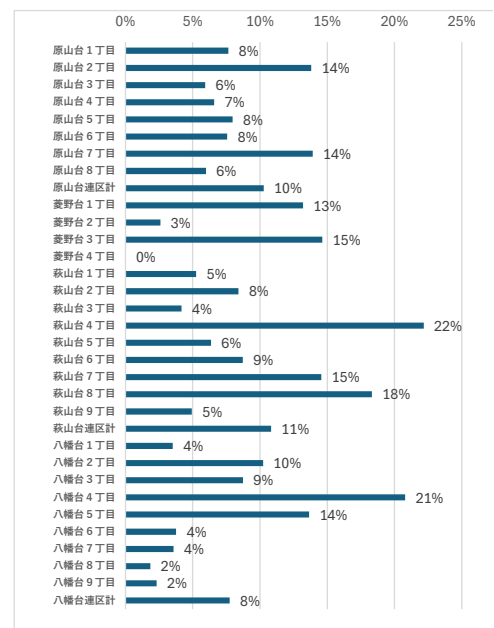
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

地区別人口の推移



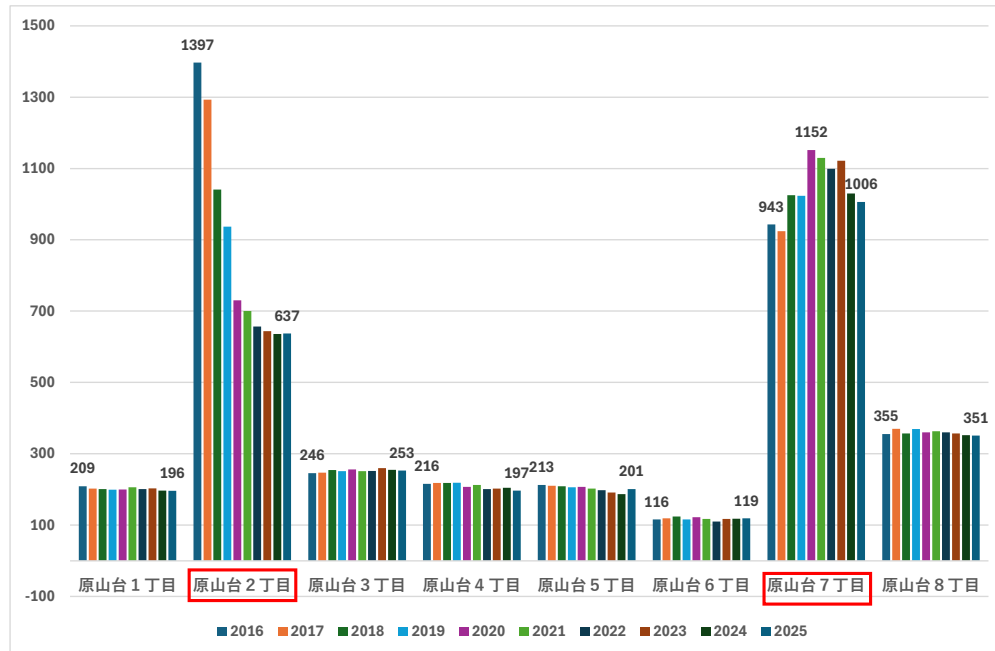
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

外国人世帯割合



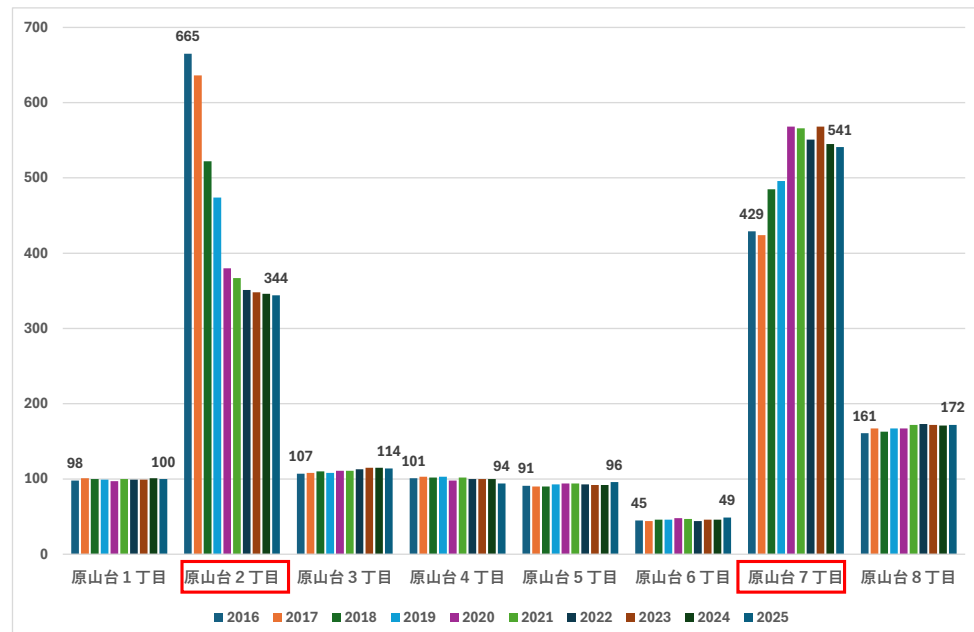


原山台の人口推移



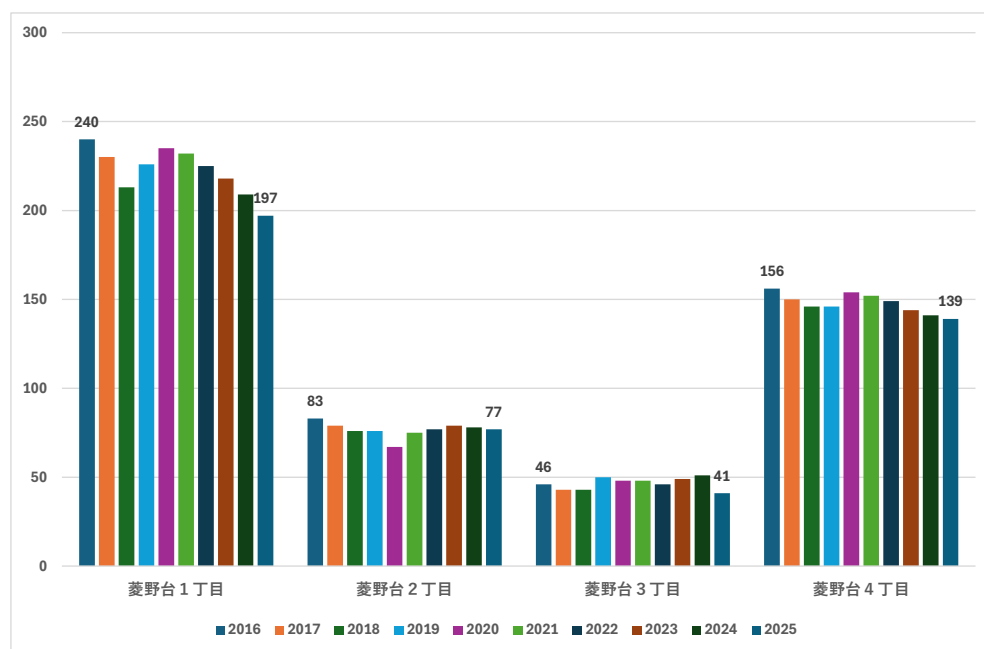
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

原山台の世帯数推移



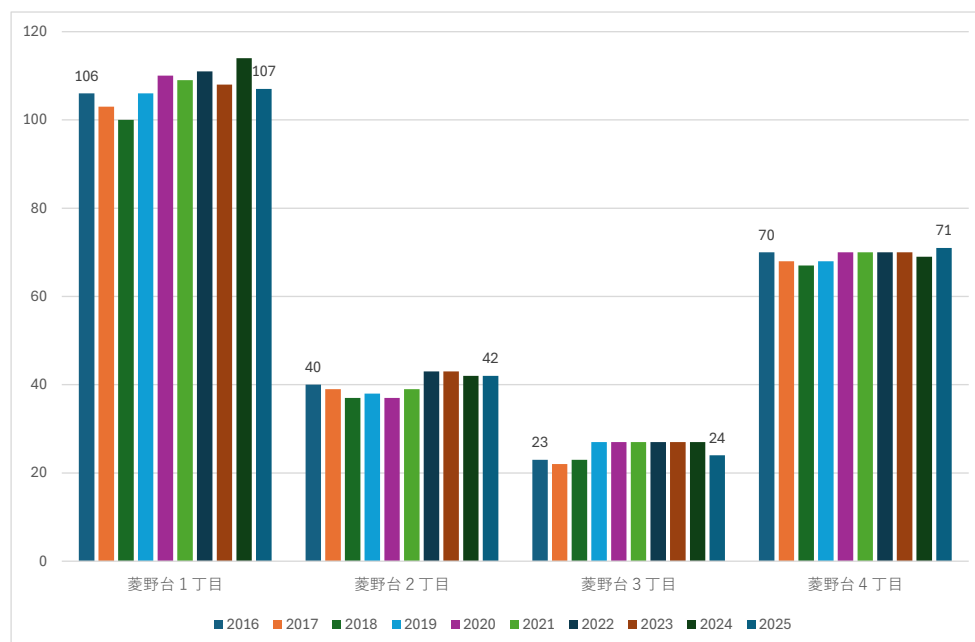
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

菱野台の人口推移



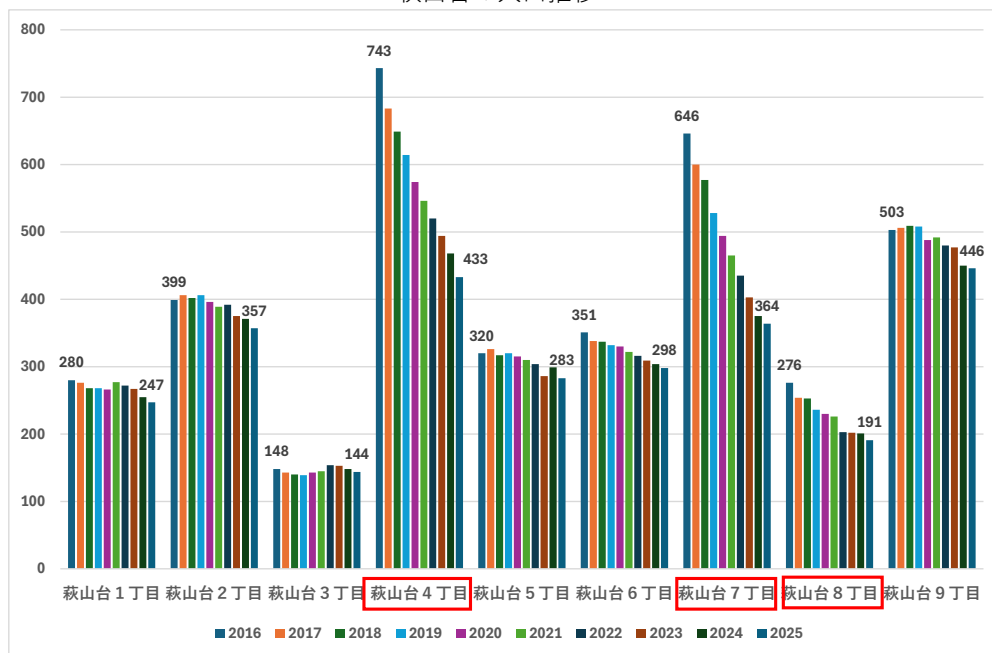
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

菱野台の世帯数推移



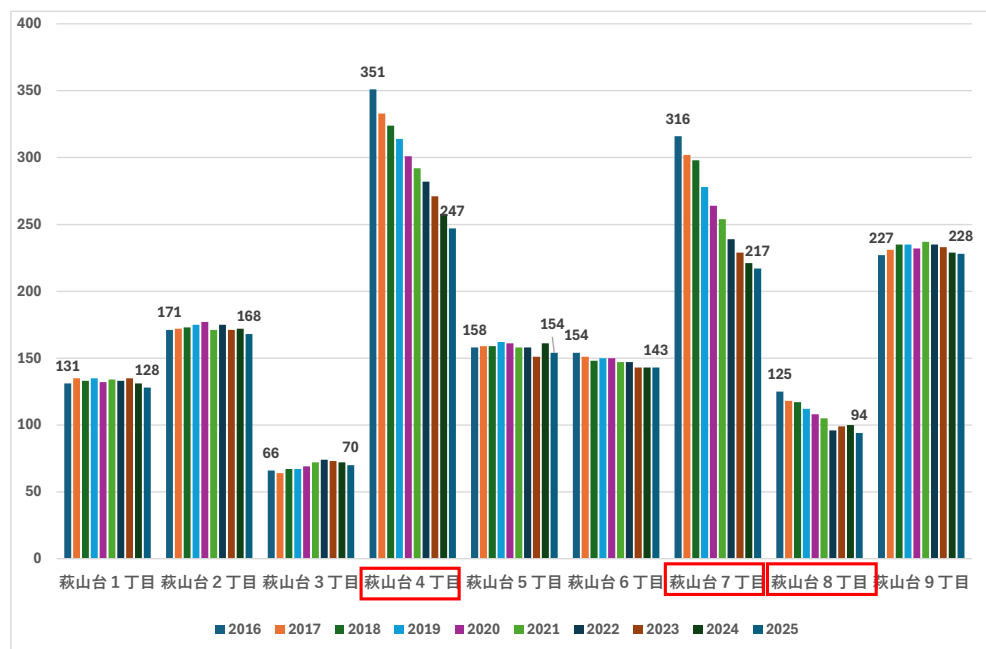
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

萩山台の人口推移



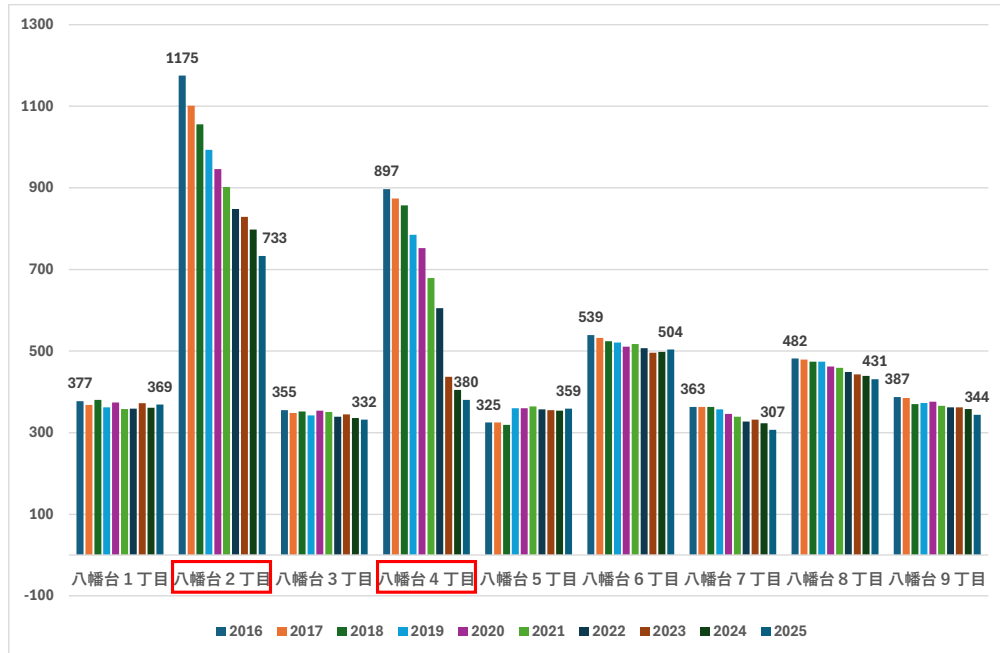
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

萩山台の世帯数推移



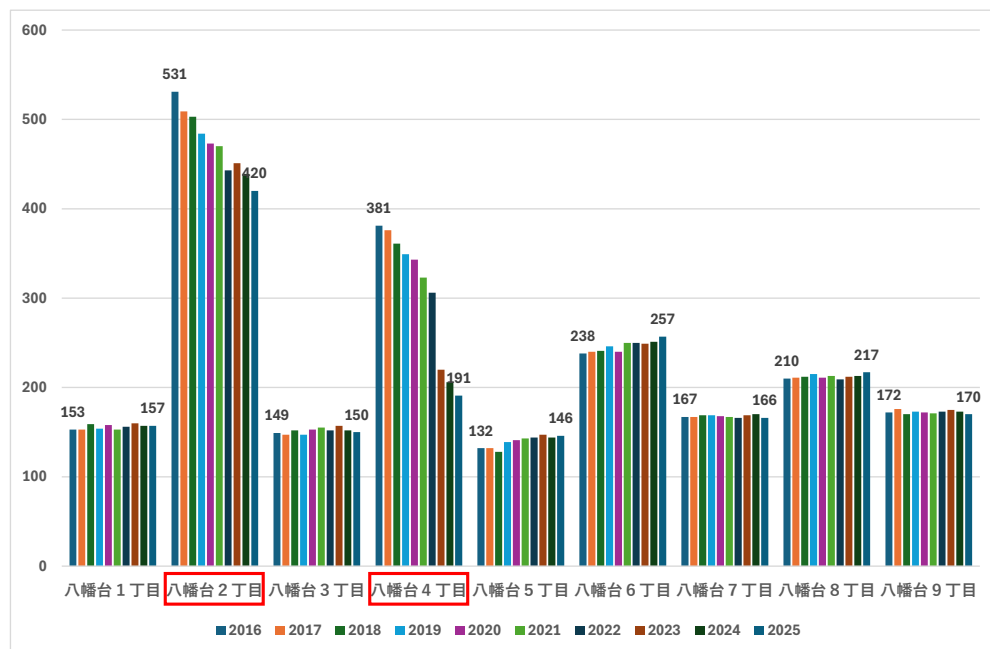
出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

八幡台の人口推移



出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成

八幡台の世帯数推移



出所) 瀬戸市「人口と世帯」より石川研究室作成





出典：総務省統計局「国勢調査」, 政府統計の総合窓口(e-Stat)を基に jSTAT MAP により作成

## まとめ

- ・ 関係人口としての大学生の団地再生への寄与
- ・ 大学生による多様な団地活性化プロジェクトの進展  
情報発信、賑わいづくり、センター地区の活性化、客観的分析など
- ・ センター地区における活動拠点の必要性  
→ **多様な価値**の確認（愛着の醸成、情報拠点、交流拠点、子供の居場所など）
- ・ 高齢社会における住民バスの役割  
→ **高齢者の外出機会の創出、日常生活維持の確保、シビックプライドの醸成など**
- ・ 団地の人口減少  
→ **老朽県営住宅での人口・世帯の継続的大幅減少が主要因（建替え後の入居・管理にも留意）**  
分譲住宅・商店街では人口・世帯を維持